

06 家庭訪問

今週、来週と地域訪問という形で、各ご家庭の所在や通学路の安全確認をさせていただいております。これは従来実施していた家庭訪問に代わるもので、コロナ禍で各ご家庭を訪問することや、玄関先で個人情報を、距離をとりながら話し合うことは困難と判断したためのものです。

少し前、といっても十数年以上前の話ですが、家庭訪問を否定的にとらえる声が高まった時期がありました。「保護者の方からすれば、たとえ玄関先であっても家庭内を見られることはどうなのだろう。」「訪問する日時を指定して、お仕事等の予定を開けていただくことが非常に難しいご家庭がある。」「一日の中で、多方面にわたる地区の家庭から訪問要請があり、家庭から家庭の移動だけで相当な時間を要してしまう。」「ご家庭によっては夜7時や8時でないと訪問できない。」などの理由からです。

ところがここ何年かは、(コロナ禍となる前は)「一人一人の子どものことをよく理解するうえで必要なのではないか。」「保護者と連携していくうえで顔の見える関係づくりは欠かせない。」「短時間でも直接会って、子どもたちの話をすることで、学年や学級経営方針を伝えられる。」などの意見から、どちらかといえば家庭訪問推進の風が強まってきたと感じます。

コロナ禍を考え、地域訪問という形での実施とはなりましたが、本来でしたら、お子さんのご家庭での様子をお聞きして、ともにお子さんの健全育成のために連携を図るための「家庭訪問」を実施したかったというのが校長の本音です。